

連日メディアでも報じられているように、震災の大津波により、海底から巻き上げられて市街地に残された大量のヘドロと、ライフラインが寸断されたことで処理がままならない下水や汚水の影響などで、被災地は日常的に悪臭がただよい、また、本格的な夏を迎えてハエなどの害虫が大量発生をしています。

先日、筆者が砂町地域で活動をする中で、「北砂4・7町会」の斉藤勇総務より、町会で所有している害虫駆除剤の散布機を使って、被災地に貢献をしたいとのご提案をいただきました。安藤幸夫町会長をはじめ、



▲大街道地区4月撮影
(柿沢未途が訪問を続けている、この地区の武藤氏との交流が縁となり、今回の害虫駆除活動へとつながった)

「北砂4・7町会」 有志の皆様と石巻市へ 害虫駆除ボランティアへ!



文/衆議院議員 柿沢未途事務所・北原拓実秘書

町会の皆様にご相談をしたところ、すぐに行動しようという話になり、震災直後から柿沢未途が足を運び復興支援に携わっているご縁から、石巻市の下釜第三町内会・渡辺秀二町内会長、地域のガレキ撤去の中心的役割を担われている武藤建設の武藤浩光社長らと早急に調整を行いました。そして7月30日(土)、31日(日)の2日間に渡り、計7名の町会有志の皆様と筆者で、害虫駆除ボランティアのため、宮城県石巻市に行ってきました。



▲被災地にて害虫駆除を行う北砂4・7町会の有志の皆様

被災地に到着すると、ヘドロの除去は(柿沢未途が前回訪問した)5月の頃よりもだいぶ進んだように見受けられ、悪臭は多少なりとも緩和していましたが、ハエや蚊が凄まじい勢いで舞っており、そこら中にハエの死骸が散乱していました。ものの10秒も1ヶ所に立ち止まると、

数匹のハエが顔にたかるような有様で、外で食事しようと弁当を広げれば、瞬く間に食べ物がハエだらけになってしまいます。そのため、被災地の方々は、エアコンはおろか扇風機なども少ない猛暑の中で、窓を完全に閉め切って室内での生活を余儀なくされています。

▶下水にはハエの大量の死骸が



▲砂糖、日本酒、酢などを入れたペットボトルでハエを誘い込む仕掛けがあちこちに

▶ハエ取り紙も、あっという間にいっぱい





◀ 真夏の防護服に身を包んでの作業は重労働

東京都江東区の北砂四・七丁目町会が東日本大震災の支援で7月30、31日に石巻市大街道地区を訪れ、ボランティアで害虫駆除作業を行った。
大街道地区に住む武藤浩光氏が知人の衆議院議員の柿沢未途氏に石巻地方の現状を知らせたところ、柿沢氏を後援している同会が復旧作業を買って出た。

▲北砂 4・7 町会の活動を取り上げた「石巻日日新聞」

東京都江東区の町会 石巻で殺虫奉仕作業

20日後8時にメンバールン人がトラック2台ラコン車1台で東京都を出発した。翌日の午前6時に石巻市大街道地区に到着し、早速作業を開始。それらの家屋や道路に殺虫剤を丁寧に散布していった。
大街道南地区は津波で2メートルの高さまで浸水。流れ着いたカキや餌料は除去が進んでいるものの、未だに

▶ 路地裏に入り込んでの駆除活動



殺虫剤を散布するボランティアのメンバー

腐敗臭がたちこめ、ハエなどの害虫が大量に発生している。

作業当日は、小雨が降る中の薬剤散布になりました。その数日前にも全市一斉散布があったようですが、対象地域があまりにも広いため、主要幹線通りを中心とした散布にとどまり、残念ながら十分とは言い難いものだったようです。路地裏にまで入り込んでの我々の作業には、多くの方々が声をかけてくれ、積極的に誘導・協力をしてくれました。

作業後は、驚くほどの感謝の声を投げかけられ、継続的な支援の必要性を肌身で感じた害虫駆除ボランティアとなりました。なお、この活動は、地域の結束による支援活動として、地元紙「石巻日日新聞」にも大きく取り上げられました。夢の島を有し、かつて深刻な害虫問題に面した江東区にとって、この被災地の現状は決して他人事ではありません。培ってきた経験をもとに、迅速な行動にうつされた安藤幸夫町会長をはじめ、「北砂4・7町会」有志の皆様へ心より敬意を表するとともに、深く御礼を申し上げます。

未曾有の国難にあたり、被災地が直面する問題は季節、時間の経過とともに常に変わっていきます。今後も柿沢未途は、時には地元の皆様のお力をお借りしながら、現場の声を聞き、それを国政に反映するための活動を怠ることなく取組んで参ります。どうぞ、今後とも地域の皆様のお声をお聞かせくださいませう、心よりお願い申し上げます。

後日、柿沢未途は国会質問（震災復興特別委員会）の場において、被災地におけるハエ・蚊の問題を取り上げました。被災地の深刻な害虫対策について、感染症対策なら厚労省、仮設住宅なら国交省、地方負担をうながす総務省などと、分散している国の対応について追及し、避難所・仮設住宅における早急の網戸設置、およびハエや蚊の専門家である保健所の「環境衛生監視員」を全国より集めて、強力な体制を早急に整えることの必要性を訴えました。



継続的な支援活動にご協力お願いします

柿沢未途事務所（江東区富岡）で継続して行っている被災地支援に、皆様のお力をお貸しください。地域、町会、サークルなど5名様以上の団体で被災地でのボランティア活動にご協力頂ける方は、柿沢未途事務所までご連絡ください。※交通費、食費、その他雑費などは実費になります

被災地支援ボランティアご連絡先

みんなの党東京都第15区支部・柿沢未途事務所

〒135-0047 江東区富岡 1-26-22

TEL 03-5620-3104

みんなの党

災害対策本部事務局長
衆議院議員 柿沢未途



◀ 美容組合の皆様と一緒にハサミなどの美容器具を届ける

被災地の被害は依然として深刻な状況です。引き続き地域の皆様のお力を賜りますようお願い申し上げます。柿沢事務所では被災地との連絡を重ね、私のTwitter (@310kakizawa)、公式サイト (www.310kakizawa.jp) などで皆様へご協力のお呼びかけをいたします。ぜひ、皆様の温かいお気持ちを被災地へと宜しくお願い申し上げます。

▶ 枝川一丁目町会の有志の皆様とカレーの炊出し

